

ノートゲルトに見る 「ハルツ山地の神話と伝説」

第5回

加藤 正宏

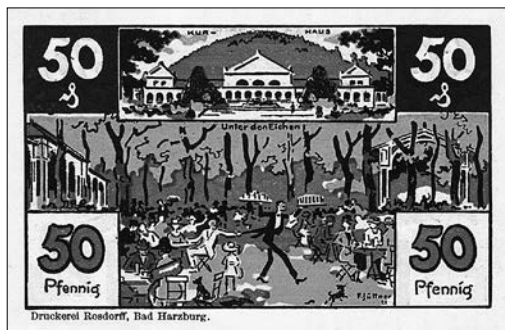
(VII バート・ハルツブルクの続き)

*フラウ・ムジカ(ムジカ夫人)

ムジカは音楽のことで、マルティン・ルターは、一五三八年にウィッテンベルクで出版されたヨハン・ワルターの小冊子のために、「フラウ・ムジカ」というタイトルで「すべての良い賛美歌の序文」を書いた。この詩は、ルターの音楽に対する情熱と敬意を証明していると言われる。このノートゲルトでは、音楽の女神(魔女) くらいの意味だろうか。

◇裏面「写真1」

ノートゲルトの四角には額面の「五〇ペニツヒ」が記載され、上部の額面の間には「クアハウス」の文字と三棟の建物が描かれている。その下には「オークの木の下で」の文字と野外でのビヤーガーデンが描かれている。画中にフランツ・ユット



【写真1】1921年 50ペニツヒ 裏面

ナーの署名、画枠外に印刷関連の文字が見られる。

*クアハウス

ドイツ語で療養の家を意味し、温泉地に設けられた保養所のことを指し、温泉を利用した療養、保養、健康増進施設などがそれである。多く

は入浴施設とスポーツ施設をあわせもち、専門家の指導のもとに健康増進をはかる。

◆七五ペニツヒ

◇表面「写真2」



【写真2】1921年 75ペニツヒ 表面

ケンタウロスがレースを展開している絵柄である。観客には裸身の魔

女たちの姿も見える。上部の両角に額面の「七五ペニツヒ」の文字、この額面間に「バート・ハルツブルク」「このグートシャイン(引換券)は一九二二年一月三十一日まで有効で、市の財務省によって引き換えられます。バート・ハルツブルク一九二二年七月一日 市議会 署名」の記載があり、画面中央下部には「ケンタウロスが過去に競技をしていた場所、皇帝ハインリヒがフィンチの群れに楽しく座っていた場所、今、最も近代的なスポーツも見ることが出来る。」と書かれている。画中にフランツ・ユットナーの署名、画枠外に印刷関連の文字が見られる。

*ケンタウロス

ギリシャ神話に登場する半人半獣の種族の名前で、首から上が人間の上半身に置き換わった馬のような姿をしている。このノートゲルトでは